



園児の「密」悩む幼保ふれあい成長



新さっぽろ幼稚園・保育園で、園内に入る前に手を消毒する子どもたち

園児の「密」悩む幼保

ふれ合い成長に必要・過度な制限ストレス

保育園や幼稚園が新型コロナウイルスの感染対策に苦慮している。各施設でも「密め」を徹底し、行事縮小など知恵を絞るが、大勢の子も一度に見守らざるを得ない上、保育士は抱っこなどのスキンシップや子ども同士の遊びが欠かす、「3密」(密閉、密集、密着)を避けるのは難しい。過度な予防は子どもたちへの精神的なストレスも懸念され、専門家は「感染対策と健全な育ちのバランスを確保する必要がある」と指摘する。

「おはよう。入る前に手を洗いなさい」と、園庭前の消毒を徹底。新しいフェンスに注目を集める。札幌市厚別区の認定こども園「新さっぽろ幼稚園・保育園」で、登園してきた子どもたちに消毒液を手拭きした教諭が呼びかける。園児を育てる札幌市内で認定こども園や幼稚園など計14カ所を運営する学校法人大蔵学園では、新型コロナウイルスの感染拡大以降、登園前に自分で検温してもらい、マスクを着用してもらい、マスクを消毒したり、

汚したりして、衛生的に逆効果になることも多い。教諭は「感染は子ども同士で伝染するよりも、大人から子どもへうつるケースが多い」と話す。全国的には、同業連盟の大谷社教育局長は「保育の場で『密』を完全になくすことはできない。その前提に立って、できる限りの対策や発信をするしかない」と話す。

76.1MHz まちに活気を



「いわみざわ元気計画」の生放送に臨む関係者たち

市民がゲスト 展望語る

7月中旬から放送される「いわみざわ元気計画」の生放送に臨む関係者たち。市民がゲストとして参加し、展望を語る。

障害者の芸術 魅力紹介

【岩見沢】障害者による舞台芸術や作品の魅力を紹介する「障害者の文化芸術フェスティバル 北海道」が10月、市内で開かれる。「アール・ブリュット」と呼ばれる美術の専門教育を受けずにいる障害者の芸術作品の巡回展もあり、市は、市内中心部の空き店舗をギャラリーに活用。作品を入れ替えながら、12月下旬まで展示を続ける。

空き店舗にギャラリー、舞台はネット配信

インターネット配信による舞台発表は、10月3、4の2日間を予定する。和太鼓の演奏やダンスパフォーマンス、演劇など、道内外の4団体が出演する予定で、事前に収録した映像の配信だけでなく、ライブ中継も計画している。市は「新型コロナウイルスの影響で、実施できる内容が大幅に制限されるが、障害者芸術の魅力発信につなげたい」としている。

岩見沢で10月3日フェス開幕

町議会全員協取りやめ

月形町長選出馬予定者の出席巡り

【月形】町議会は20日、開会を予定していた全員協取りを急ぎ取りやめた。月形町長選出馬を予定する町議長の出席巡りが、町議会の開会を前に、次期定例会開会前の9月4日付で議員辞職する意向を金子広司議長に示していた。議長はこれを全員協取りの姿勢を示したことに對し、他の町議が「まもなく辞職する議員と議論はできない」と反発し、議長は「判断で開会を回避した。全員協取りの再開は、議員の意向による」としている。

そらち多品濟々 ふるさと納税返礼品

有田アリストから贈られる、スタインウェイ・ピアノ。ふるさと納税の返礼品として、スタインウェイ・ピアノが人気。

④「スタインウェイ」ピアノ試弾券=新十津川町



世界的名器 ステージで独り占め。メロディーを奏でれば、すっかり有名ピアノ気分になれる。